

映画というタイムマシンに乗って
さまざまな時代をのぞいてみよう



パンダコパンダ 雨ふりサーカスの巻 © TMS



『マッチ売りの少女』©1928 STUDIOCANAL All Rights Reserved.

川崎市アートセンター

映画 タイムマシン

vol.14

いっしょに
映画をみよう！



『お早よう』©1959松竹株式会社



ワーク
ショップも
あるよ！

2026 8.1(土)~7(金)

10:00の回 ※3(月)は休映日

8.1(土)	サイレントプログラム	8.1(土)	柳下美恵さんの ピアノ演奏つき
2(日)	★ マッチ売りの少女 +アリス・ギイ短篇集	8.2(日)	★ 大森くみこさんの弁士 & 柳下美恵さんの ピアノ演奏つき
3(月)	休映		
4(火)	お早よう		
5(水)			
6(木)	パンダコパンダ		
7(金)	パンダコパンダ 雨ふりサーカスの巻		

ワークショップはすべて映画鑑賞付き

8.1(土) 映画音楽 vol.12

やなしたみえ
講師：柳下美恵(サイレント映画ピアニスト)

8.2(日)、3(月) 映画弁士 vol.9

おおもり
講師：大森くみこ(活動写真弁士)

8.5(水) こまどり映画 タイムマシン vol.1

講師：りつやりつこ(映像作家・イラストレーター)

8.6(木)、7(金)

作画アニメーション vol.5

講師：りつやりつこ(映像作家・イラストレーター)

8.7(金)、8(土) キノーラ vol.11

おおたかなゆこ
講師：大高那由子(アニメーション作家)

ワークショップの詳細はこちら



チケット料金	一般・シニア	会員	大学・専門 院がい者・ 付添(1名まで)	高校生 以下
サイレントプログラム	1,500円	1,400円		
『お早よう』、『パンダコパンダ/ パンダコパンダ 雨ふりサーカスの巻(2本立て)』	1,300円		1,000円	800円

サイレントプログラム(定員98名) サイレントプログラムは招待券使用不可

- 全席指定席 ●ご鑑賞の3日前より購入可能
- 窓口9時~ / オンライン10時30分~上映30分前まで

チケットの
オンライン購入はこちらから



ユースパス会員は
500円

3歳から18歳(高校生)まで
●100円で1年間有効のパスを発行
●500円で映画がみられる！

【会場・お問い合わせ】

川崎市アートセンター 映像館

TEL. 044-955-0107 FAX. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp

https://kawasaki-ac.jp 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

主催：公益財団法人 川崎市文化財団(川崎市アートセンター) 共催：チャイルド・フィルム 後援：川崎市教育委員会
助成：芸術文化振興基金 協力：一般社団法人コミュニティシネマセンター、素材提供：アンスティチュ・フランセ



川崎市アートセンター
kawasaki ART center

サイレントプログラム

アリス・ギイ短篇集



アリス・ギイ監督・・・1873年生まれのアリス・ギイは世界で初めての女性映画監督です。1895年にパリで最初の映画上映を見て、映画作りを始めました。『ソーセージ競争』はソーセージを追いかける人々のドタバタ。『マダム欲望』はハラペコの奥さんのお話。『フェミニズムの結果』は男の人と女の人が逆転した世界。最後はアリス・ギイ監督が音つきの映画(フォノセーヌ)を撮影しているようです。

〈上映作品〉『ソーセージ競争』1907年|5分

『マダム欲望』1906年|5分 『フェミニズムの結果』1907年|5分

『ビュット=ショーモン撮影所でフォノセーヌを撮るアリス・ギイ』1907年|2分

フランス|白黒|サイレント|合計20分|デジタル 素材提供: アンスティチュ・フランセ

マッチ売りの少女

8.1(土) 2(日)★
10:00



©1928 STUDIOCANAL. All Rights Reserved.

1928年|フランス|白黒|サイレント|38分|デジタル

監督: ジャン・ルノワール、ジャン・テスコノ 原作: ハンス=クリスチャン・アンデルセン

出演: カトリーヌ・ヘスリング、ジャン・ストルム、マニエル・ラアビ、エイミー・ウェルズ

日本でも有名なアンデルセンの童話が大好きだったルノワール監督。おもちゃのなかにいる様子、空を走る馬など、監督はいろいろな技術を工夫しました。1879年生まれジャン・ルノワールは画家オーギュスト・ルノワールの息子です。

8.1 (土) 柳下美恵さんの
ピアノ演奏つき

8.2 (日) ★ 大森くみこさんの弁士
& 柳下美恵さんの
ピアノ演奏つき

お早よう

8.4(火)、5(水)
10:00



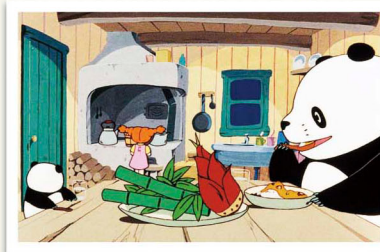
©1959 松竹株式会社

1959年|日本|カラー|スタンダード|1時間34分|35mm

監督: 小津安二郎

家にテレビがない時代、テレビが見たくて口答えした二人は、お父さんにひどく叱られます。怒った二人は「もう誰とも口をきかない」と決めてしまい、学校や近所で大問題に。おなら遊びの場面も必見! 1903年生まれの小津安二郎監督の作品です。

パンダコパンダ



©TMS

1972年|日本|カラー|スタンダード|33分|35mm

監督: 高畑勲 原案・脚本: 宮崎駿

声の出演: 杉山佳寿子、熊倉一雄、太田淑子

日本一強い女の子ミミ子は一人で留守番。そこにパンダのパンちゃんとお父さんのパパンダがやってきて楽しくすごします。ところが動物園の園長さんが2ひきを連れ戻そうとします。高畑勲監督は宮崎駿監督とジブリを作った代表的な監督です。

パンダコパンダ
雨ふりサーカスの巻

8.6(木)、7(金)
10:00



©TMS

1973年|日本|カラー|スタンダード|38分|35mm

監督: 高畑勲 原案・脚本: 宮崎駿

声の出演: 杉山佳寿子、熊倉一雄、太田淑子

ミミ子はパンちゃんとパパンダと楽しく暮らす中、泥棒や迷いトラが来ますが、誰でも大歓迎。トラちゃんをサーカス団へ送り、招待された公演を心待ちにします。高畑×宮崎コンビの想像力がたっぷり表現されたアニメーション作品です。

質問① フィルム上映ってなあに？

今回は3作品フィルム上映を行います。35mmフィルムです。3.5cmの大きさのフィルムに光を当て、レンズで大きくしてスクリーンに投影します。上映後に映画館の後ろの映写室にある映写機を確認してみよう!

上映後に
確認して
みよう!

質問② 映画はいつはじまったの？

映画は、アメリカのエジソンのもとでディクソンが開発した「キネトスコープ」(動きをみるという意味)という一人でのぞいてみる方式がヒントになっています。その方法を使うと一人しか楽しめませんでした。ディクソンが「キネトグラフ」(動きをかくという意味)、ドイツのスクラダノウスキー兄弟が「ビオスコープ」(生命をみるという意味)、リュミエール兄弟が「シネマトグラフ」を発表しました。世界中でいろいろな人たちが工夫して映画の開発をしました。

質問③ サイレント(無声)映画と
トーキーってなあに？

映画のはじまりの1895年のフランス、リュミエール兄弟の映画上映では、映画には音がついていませんでした。はじめのころの映画館では映像に合わせて楽器を弾く楽士が生演奏をしていました。日本ではセリフや物語をかたる活動写真弁士が人気でした。

トーキーは映像と音と一緒に上映された映画のことです。1927年、アメリカ『ジャズ・シンガー』(アラン・クロスランド監督、ヴァイタフォン式)が上映されました。日本では1931年の『マダムと女房』(土橋式)が最初の作品です。

感想コーナー